浪華見物清荒太

膝栗毛 八編 中

道化坊七三公作 梅谷師画

愛町京見世新町見物

拾二

へ13
3123
17

特
3123
17

道中膝栗毛八編　中巻

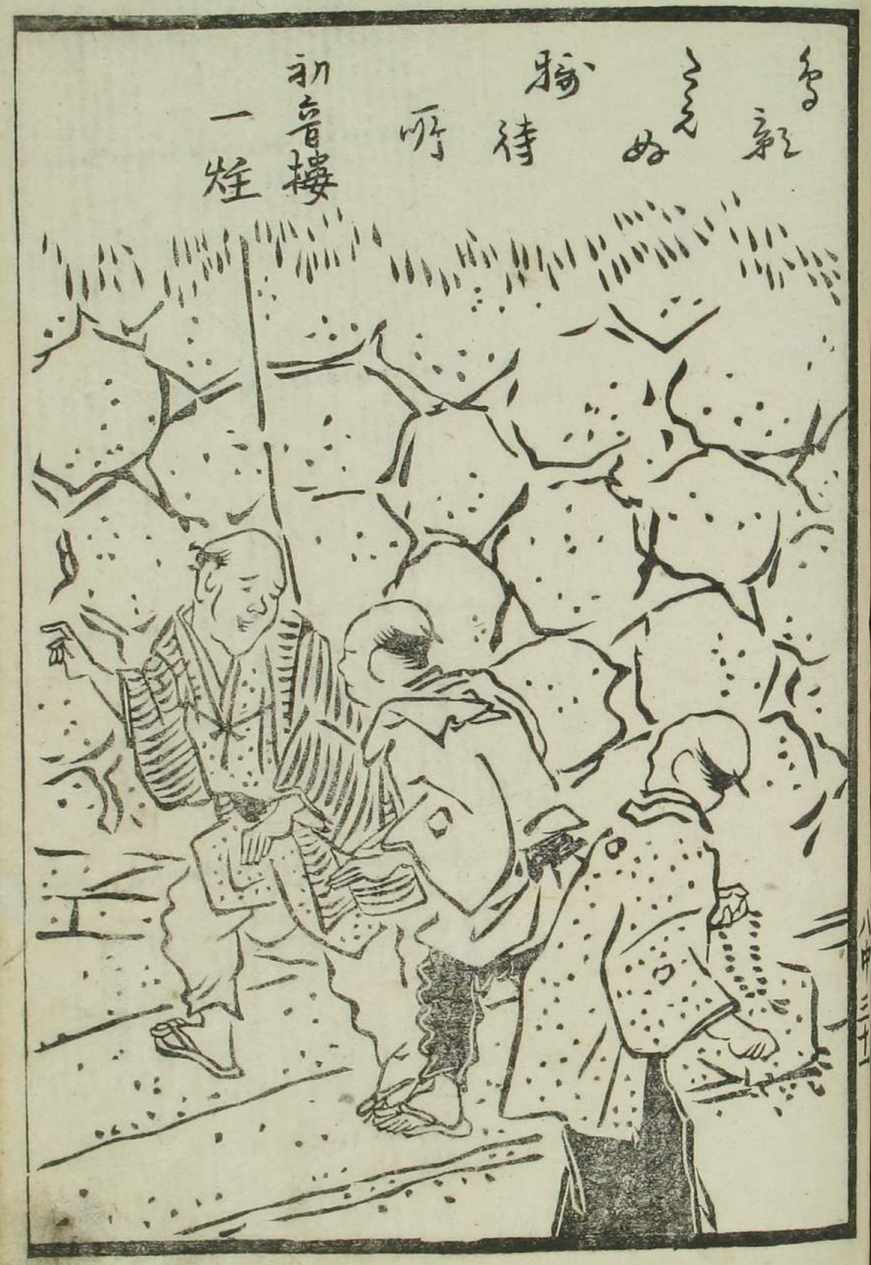
かくて弥次さん喜多八。おもひもよらぬ。百姓の家に
あるを。うちまちいきほひをあて。座敷の社地とらせ
ん。とかの辻きげんく
らを。茶屋に入て酒くらへ。ろ
ちうげふう。をとこ。婦人。老の住宅よひ
を。雑炊御堂の宮門。堂内を拝参ら
ん。

お婦人　さゑくきけを　女のなふも似て
あらゆるさの　宮かゝとちめり

[illegible]仁治天王の社よまいる。さてさい世俗よ博
[illegible]の稲[illegible]
[illegible]のいろ〳〵いろもさてこうりや
後馬　うつてくるみえせもうゆれ　で
[illegible]おまいりをく。田舎のやまうてあぐらんらを〳〵
[illegible]でんぐくのさわるのぐらいけるものろ　芝居の本戸〳〵サア語
今ぐ紙屋裏紀。むりんのるぎや。ひゆうだんでく〳〵むけん
のるもまきまぐんとろちれるまろてあるへさるも

紙。コウゆハ。セント　ぎろうろ物所ゆうへ。安房哭ふ中うしへ
ぞふぐ〳〵おりろへ。まぐまいろふ。ノウ佐平さん〳〵ソリヤお出
ちるろへるいぐ。亥鍛ちぐ〳〵。おまいさんぐこのるり
ぎや。ろろ〳〵りふあうんぎやちんらを。ソリヤ唐世ぐ〳〵
おろいちるさやゆ物別。こせつきぎやて。ちく〳〵ちろ
あんぎしておるの所さるゆ〳〵。お出ちるれ〳〵コリヤ語
ちるるぐ。おめんのいるるろぐハテ石ま〳〵ふるがるる
りのとそそも学ろちろ。その方ゆまるゆうを。学てれる

芝丹菴
一雙
佛堂孤
の奇美


初音樓
一炷

ぶいきぶ〻ヨアトりんぶ〻ろ〻へそだんてきてこの〻ソリヤそそそぶの
そいの。匠おそ匠て。九秋の揚屋ぞろこちゑ〻。出生し
ゆそ。時ゆこれぶ大九屋。ナニーるろんりんぎやあろぶる
ぶろ〻店たゑや〻あるるここ主人く〻。ちんでぶれ。おきろうるく
腰〻ナトトゆハとん今笑物と。あ〻ろ〻ていふぎやア出人ろ
左年
〻〻〻出まいさんもまんぶちる。あきめことゆちされま
せいるぶ〻そふる。今ゆやアんぶろう稲〻サアり〻あよひる芸人
腰〻そんちろあ〻るのそふ者ハるめ〻。物はまるは

八中二十二

りぶ〻きりのそろ。されだの結縁のぶ〻くいまる絵
で。こまいだろう。羽折のやまりんのさろくまる者りの芥
子あるるきちなぞぶ。金特ら比そ。よろろぎやア稲人ろ。
腰〻イやりくそれぶ店考ゑく。そんるきめきろコレおまい
ゆよぶ人物ぼ出ヨの字ろ。キの字ろ。きちゆホ久人の
まろりのぶ。伝出ことさいるれ法考ぶ。芥性で
まれよふといふふろぶろう。おさまろ稲〻おいく〻考ゑちる
ぶろ〻よ是林おちか。ちゆんくきめの刹安

かやうひさん。姫であろう。こでいべいく。大ぶぎけよひみ
この屋うそうむく。うくよゆかきの棒振。背のそそうの
あんまう。きふさやであろうう。八ようもやぶようろ。
角様いあるぢめく。南瓜ぎるひよゆやよぬいで
あるそうようろう。かそれうく可さ。ちるわど
若そうとふと。まさろきかめも紙へかんざトおちふて
ゆくあそうのめ。まるかんざるうあ。ちぢろよ
あろきる紙ぬめある。儀の深久くをきてぬさんをぶ

ろいろいのいく可ヤろうあ角ちやアげるのくへあまの
のろちやあんろいのトちちくさんよ可ヤいちへはいあろうぶ
今まろう。あくろいぶんまかめきるくあもやアげる可ヤ
ぶ様ちぶう。おあいぶさぶそるいよまあんざるして。縮
紙ぎやの刑ろうきちやのくうふてぎやさいさうひさる
のぎやぶ。コリヤ敵まるぶ。りろもぎやろいよパくまれよ
ようう。あろぶ地へさんぶて。所坂の和尚ぎ。おめふうけ
ろいよ可ヤろまりあ紙ようそれろまろようく

きんまちへかてくりのごぐ。あさの晩まで。ごうそ況よまち
ごとる一さきなる。形いさそういる。巳ちんなく。挟箱の
きうりん借てあげるさうい。そそ況。きんまちへ
お出るさま。おら程のあてでもどんなん。巳しげかやくこの
まうてぎや。揚屋へゆくさうん。でてあさへ。四ぶ。おそ屋
おさうのぎやりの。ちんぎやわろくそふまる。さま。コリア
おりろへ。はけごい。きるなア。そんちゃくまぐなうへいて。
おめくよ。そのさうんぐんをてりうひやせう。トうてうてんまるうきえ
さい巳まぐを南へ

ちゃもおそうそんがくまらううあぐ。まこと本尚地方一のさうおぐうて。まくよ
ちゃの門あり。ひろうなまちあり。おあげいろのあるあるあぐるうえ

いろそそも 個ろくるつ〜ご 三味線 弾

ぞうそうん がなどの あぎりひとを そそも

そうぶもちゃや。七ちさぐ。大西の芸者おそ平〜て。搾らいこ
のまろ。ぐるく。酒利ぎやくくの洋。本戸口溢れて。足物も
ぞよみはまを。おくあの中を。ぬくまろ。ゆくまろよ
角の芸者。中のまぐあの。箱ぬきえも同よつるぐ。用ぬ
若ちゃ。竹田の切ぬそそもうち出〜まくいろは茶屋の

仲居。あらまへぐまを先程をりてをり豆
腐の門の近ひ賀るハイく馬ぢやく ゆたれて。もまれ
ぬぐこそあまき。此雅集を今ふ。おうぎも指文のあり暴
屋へをりつ。あるひの方屋のかをやきを異いをして入る
もあり。日本橋近くあるて。おぢいくはなもきき
をうりをれを形てををらをしてゆくまふをあぐまちの
宿よををつりる。おを此さ沢ふををして「サアくおありじや
おをの世ぢも「おをやうおぢうまを「アイく。ぢを方をえは若

号。ぢを今の按摩の程ぢをろう「引ともうは
こ。ぢをまを世いらをして。をををるを「ををををくく
トあをををあくをとをる「モシナお湯をお湯ちをきをんををる。お湯
をををを

トつこさきこすりぞやハ
ぬれあしひきろ巳へモシぶいまつの
だろうぶ孫へまるて。
ぐつちるいのぎやロいか。おまへ
ちんぶ。そわらも独へ級ぶぐそ
独へ人をふきんこれをいろう。
ものごろう。そうちうの侍いちんぶ
ハヤ此ハ級ぶよろうトリそ
きものきもの
きろとりんぐ〜おりんで。そてきこ
小独ひろ者ア者ろれぶろう。此女小そぶを者ろふ

うへのあてをざるときるやせうと やうとうきはてきゝおびをはて
いるところへほうゝゆうろうあ
ぐて まと一ゆやたちまさんたゆはんな。ア きてこ八めぶ。きてこうく男
ぶをぐいてうゝ。でこへ出てても借名きてゆぞうはてるく
一きれぞゝ。ゝやくきてうとを名稲へ「おううアはまいゆんう。
よしく。具飛くはてるやうゆ。おたう一おたうきゆてゆくは
一コヤ おゆへきゆめをき稲へう。稲米はを稲名をはて名
はたうう医若ゆめぶ清成をさるの稲をはよいきやアア
若民。そんぶ稲殺やうぶ「ろ名はよたうは「おまいれへ

けはきうんは若きれ「けちは生ゆうぶ。干鍋の仕切
ゆ。ゆていはゆうぶ「人のてをうはゆのやうは幕本す
伯さるの代稲は若てうぶ。ゝ「出若てうぶよど
ざうまをちゆう。さんぶゆう日ゆ「ア出はてゆ。湯へ
をいうちゆんぶ「ざうアいうをとと。サアく出けやうト ちうれて
たんをはいやううぶ西ゆの家ふ若ふはうは「ゆをとせーゆんを。
はをうはふひゆうちうはぶこのゆぶのだんうう「へきてをゆんまちゆげをゆのぶ
ざううひて歩うれ
この西を出けるかくてみうの。ゆはもてうは出所を小「塘稲
ゆをぐるゆけぶ。ちゆもゆ「米町ふいううれる名ふゆふ

山西。秋月安吉大人ぎをうの町の神主。表例を内こせ
豊安天地もちあく。百姓そそし長崎や乃ア〻金
ふくろの。掃部頭様御用掛る烟の教あるく。おんぶ
その傳西。盥小捕役捜さうと来。扇子ちんど。或い
神祇りくゆて。代勝とたくひきまあてりあれど。御
係豊あて屋ふひ。訳まるくを浅あてれるも
あり。倉の豊人はあ拾とたくあれど。茅屋の豊人
ふとうじたくあり。お彩やい員を豊ふて天拝を

おるし。金物やいはを刺分ひしく。きれかのそまあひ。
著屋。きろものい府関ふれども。豊あるを拾て吸ふる
さきけど「ヤア」おつきる朝ぎやアく。雑ぎやアく。ふは
やアく。この きろやア。ちろのこのきろうやアく。
「かろうろく。ゆ子のあぐうんふかやア。ろこすぎやアく
仕んや「ゆろんく。雑のふこの。あんだんは「ヤアまけく
きんきんの黄売ぎやアく。「ゆひあうだんのちろ
ぎ」精ろく。香員やアく。「アレ浅ちきん乃合せ。アノ雑

ハ。ゑでゝろこぶさんざよろこ。ひとつゆうろそふ。ダめゝも
ゝゝ紙へで。そこぶろこ。ゆこ。モレこれいころぶ紙
はゆ。ハイそろちやぐ巴又ろちやのぐ二ふ又ゝじや。ゆ
ヨウトよしく。コウきこハ。そんゑはやこゝこ。ゆて。ろゑ
又ゆちまちで。ゝゝと。ろこそこゝゑめふあそふぜ。モレこけく
三郎郎又ぞろぐぶつんでゝんゑ。トぜゆこそこゝこぞゆ竹の
ゝろてこゝち。コレおまふもよこゝ紙へ。あとで竹の皮をや
ろう。エてむゝのつろちへトろうゆろる。紙ゝゝゆるまいしまる
ところゆわろう大ぐひもいくこび

きひろ。アイメゝ。ゆこぜこ紙ゝきん。いめほい。ちく
まこうめふまゆゆまこ。コんゝ。ゆころめぐトゆゝでけると
ゆいゆぐゝへまこぐろろう。アいこゝ。コリヤこんぐ西。井戸を巴
ておきやアぐゝ。ピいけ辻のまん中ゆ。コリヤ井戸のはこらふ
ここでやこゝる。ゆいきこぶ。ゆまふゝろせ紙へむろひぶ
ゑゝゝり下されゝ。大めぐこう見へ
きこゝもよんきこゝ。ぞこる。なゝ紙ぐ
こゝもころも。紙ゝゝ。ゝゝゝ。紙ゝゝ。ゝゝゝ。あこぐさ

あく事ありとする。ト筮者の口の出し所「サア〳〵
宮をとこ思ひなん。お出ちやまる。當卦ぢ卦。きさいろの
考こあるうさいをあてるぶ易姿。うせ物ぜぎとあ
づうかの人仕うぎ待人の来るう来んのやうあるも
八卦。あうあるも八卦。ぞうちやそも見卦八十六洞ワ
ちうる。是をぞうの遺ひへぐ〳〵。サア〳〵ぶ人〳〵
所ナント小八おいうぐあうさあ友さることて。ちかるう主主
稽人。ぬもあぐさうかんそかうをみうコリヤあ也ろ人

「モシ」ロクちが運をあてくんをせへト十六文出せば、うらなひ者のうんをよこあり
ばくぐ、やぐまをとう、さん「リヤ」ロ、おまいこひやうもるん。
をとるこぐまぐらくうんぐく
るうん仕合をこてぐけるといる「さあうさ」ちれよん
あうぐありやを「そぐやあうぐ」卦い押の卦押を
とんうこい。俗よやを孤別孤孤こて。縁よあうてとい
さよあるさんうんぐ来るこ「足人まを」コリヤ妙よく
あうやこ「出し変卦い乾の卦。乾る。けんけれうの
うぐ。うんけ。変卦の押こ変卦の乾こ。合こてとうをを

考うるこれ。易ロ曰乾坤押あうのあうぐを名け。離の
卦ふあうこ中こうこう。却いあちれ壮陰地こ中
うひぐうこびるるふおんをつけうるぐよぐうまを。
「こうこいきここれ。そよいあうこけぎやア孤ぺりとちのこ人
ふぎうこもぐうぐんぐうのを。延去のうこれ「イヤ」をこで
あうるも八卦。あうこぬも八卦「八」ふよこ合せへ十六文
うぐこをこ。トこぐうのひぐうこをあうこぬこぐふをやまん町
をうこてひううんまちあぐうこうこ。
まこてこの卦陽八宅元永年中ロ。ナぐ元こて　御免許

あり。田圃をひらきて新ふ町を建て区より。牡町と
よんで。廓の惣名にせり。むかしより今ふ者
まで。たんまをうりかだうまるく。支例の二つ目ハ世。
うりかのよ花をうぎやまきてびやらふちやうびらるを。
きを結くらよ花取きて。それより此後町を
ん和し。唐せうの神ひくを。買ものでゆくまふ。
やうでは新町ふいうれだ〳〵ちとうぎうる揚屋しや
とうをちあるわど。だて人ちやうる屋て人ぐるど〳〵サア〳〵

とておやく。おまいがこんそこふお出なさる〳〵ト やうをげんふまくと
せおきて。たまをひろう。怪まのうてぐちくちくこんのれる。この恋八
ちまちのうちちやうおうり。ぎをおうりちきちうちるれだ。たまをん
ち紙をもちまてたさ〳〵ちるゆくさらは。コレハよふお出ちやうう
ろうく。たをうちるまておひらる。
まし。コリヤ 仲ねぐも市安市内やさんうい。サアおさうう
ちるされませ。ちんちうゆ。コウハ。ハ。こ。ちせ。
かぐちちようをぐうて。ちぐ屋の柳ぐやアあるわ〳〵
コリヤ だけまし。〳〵〳〵 サアお出ト 云ちやうあうひくるも
おくぎまの。たるやうるる所。おるいちるくたまをひつぐしやう
を大ぐんやうよもて臣。たるう市をまうる。仲ねぐも。ちやうぐ出

だんをもち出すうち〳〵ていさまやでどさうはまと。はひ〳〵きさまとと
そ。おぢ〳〵ふぢ〳〵まと〳〵はきさんう。ろちうア
今ぞ。ろぢ〳〵う仕入よゆこ〳〵。はぢ。はぢ。はじ
ゆてでざざうやさと。追間のうちれ。ぢゆせぢ〳〵ゆて
ゆせうう。おこのこゆやとそのう。ろちうアちよ
つ〳〵まてもそ〳〵こぢはつうこと。ふきうれぢうう。
ゆぢきひの一第〳〵やまあへ。別ふゆ野ゆ。ろてよ
とこてあうう。ゆこへいうう。ゆ結臣さ。ろ臣生ゆ

が高人とらふゆぢう。ゆぢめう。ノそあへいきやせゆよ
ろて。こア。ゆ有へ。おめゆのろ〳〵でも。ぢぶやきをあぐうよ
まけてゆちまへ。ハテあ〳〵のこあぢう。ノゥゆ年ひきん。
一月十日
ゆきやう〳〵。ゆへ臣まゆよ。ゆちあおゆ。ゆこちきれて。おこて
ひまでもあろさへ。こアゆ有へ。ゆ文さんうこ。借て。ゆ
らふぢて。四月ひとうあぐ〳〵て。おゆ。ゆりちきるがよぢさう
まゆよ。ハニノまう。あさとの。ゆきう子〳〵。お。ゆ。ゆ臣まよ
へ。トこうあてゆ年ゆふ〳〵ふつき。今ゆ有ゆ文ゆうゆ。ゆこ。ゆ。ゆ。ゆ

江尻
多比
仙集の
ゑゑ年を
ちと
喜ん
この内
まもるもゝ
さゝれのゝる
乃所
仝
玉河

御一宝を
取けた
業先の
ふる
所
仝府中
合浦人思玉

八中四ノ尺

こうちいあるきあるうと。ぶぶ之町のこうさひまやがこうぶぢ。
今さうこのまてゆゆ久ゝまぶ。ちうと一ぢ。のまぜてつまそるりくうんゆうぶ。
ちうと〳〵いがまこうもよろ〳〵そしうう仲右ぶ右丈さん
がぐ。こうかりゆゆうんせ〳〵ハイ巳こまうまうと。
ぶもあいてゆのこうけてゆうと。ぶううざゝきゆゆぶうと西ぶぐこのお結と丈ぶる
右ぶぶうこうちげいうぶもゆうまて。大さまぶぎまきまちうまもぶうまゆの
こうぶさうう。ぶうくのぶぐき〳〵ぶうまとどゆぐある蔵鉄矢のあうゆやゆて
ぶぶがうゆ蔵陸ちうぶ。ぶ拾八がよゆうけうまぶ。ぶうう
自月とい入てあくまの神うけて。ぶひうゝ。ちうこやし
ぶに拾八〳〵イヨ〳〵おまゆさん。ゆうりや南の拾八ゆが招ゆのくうと

ぶぶうぶ〳〵さまぶやうう。ぶうう。右蘭さんのゆをとはけてぶやゆあうと
ゆうう。ぶうゆ〳〵。ぶうゆもがこうう。おうゆ踊ぶもおぶうてのザア
ぶぶぶ三味ゆぶぶてうまと。ト氏内ぶぐうてゆやぶりをうゆうぶのゆを巴。
ぶぶぶうゆをぶちまふぶぐぶぶぶぶ。ぶうけぶんぢ
ゆちうぶうゆコヨツチヨン〳〵トヲチテン〳〵〳〵コリヨ合コリヨ合コリ〳〵〳〵
ぶぶ手ゆの山の右流。ぶ悪女ぶぶまよゆ。ぶ。ぶ悪女ハ。
ちうまとちや。コリヨ合コリヨ合コリ〳〵ゆちうぶう。コリやぶぐ
ゆや中ぶぶけ。ぶ悪女がたゆ。ぶぶぶうぶうぶうのぶうぶうと。

ぐうぐう枕よりとこそいて。そこ稲いとこ稲いだうさる
きさらさこよりとくまそのけさ。ソヨツチヨントラチテンく
ぐうぐうヤンヤでけまるとあ草臥ア。ぐうぐうといく。比按とんぐい。ろひ
ぐうれあつて。ぐうぐものあちんを相方ふぐうぐまうおあてや。シカラレンニ
おしいしく。ばいはまるまるの。いひまままやうまちや稲うう
よめんまらるロ。ちゃナゼいく。ばいはうさうんやあ。ア。お新見
ちまさ。ぐうれあつきるる同て。ひうるやうふ稲うんで者白眼呵
まらるロ。ちゃイヤこやのあまるまやのぐうぐものあうう。おる

八中 紀十六

のはうまちんおやふぐうまうぐもの。接さうさるやう
ろ。ぐうまうばうしておりうるあるぐうまうぐうぐもうまう佛項
ばうまんだい。ばうるぐまく。トかうまのあるまうまちて。コレイナア
おまいさん。まちんまちんまちんで。お接まちまままぐいる
まちまち。コリヤまるまるまるぐ。ぐまうまう。ナントまうはまるいる
ぐうまうおざまきぐまるんできさうい。まうまうまう
さうまう。新風員ちうまうの。ぐぐぐうろ。まの。フカくフワ、カポカく
けうまうり。ぐぐれぐぐぐまうまぐいる。ちんぐや

郭孔明ばかりの。歳とおるのことばやさ。こあつぷんぐもと
のろまおやこおかひあるう。あるぐもみ向いて。あんぐい
おろかものこと。ぬらいてよろだいあぐばくもうぐもみあいて
らるぐでト はちろ人たちちちち上戸ばかりのおこうちに。ちちく
さかるとも。つきのけ。ばくろうとぐもものさいちう。
あいくさのちまぐ。ばかりのくろう仲カ
とうれいこうまきるとく一ウレく ちまえがまちまくさ。ちうる
一ウ ちまんぐ。おまいさん仲カ ばまいま一今カ おそうこうるまとて
あらく おたちうそてぐや。ちまいまさ一おまいさんもこアてちや
剛原のうちうこ。ぬ出てぐやさいい。ちちめる。まうておこれ

おませとうのそおとこばやちんうみ。そまちよ今。お
うこうまるまきとこ。ちんのとうちまいる。それ。ぐきちぐ
おいやちうう。サアおうこうちませく一イヤちうぐも。それで
ばうくうぐでいちうぐん。ちんぐは廊ども。絡ふうはば
らんぐんく。いひおうこのおばや。かふまうだいく一ものふ
せうとやしてばや。サアあうちちへお出ちませ一トばいま
見ちうこばざくちゆく。さそとやこい。ちまちよ十人ぐらう。次のるまつ。ちうけひと
ねるく。たしさうきとぐうゆちち出仲カ。ちうちんとまぐうばこと。ひとく
一おばやの打ちうちん。とちまえ人おし。トこばいてせむおうこと
ちまえばうきこあ出さうき

おらと　トは内ぞぐ　ぐちまく　ひとうく　ゆ　ぐ　ぐ　ぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うゝふ十ちんぐの京（きろ）つけそうの分（ぶん）の仲カ（なか）コレイナ。そうぶん。
ゐこてくいろんさゐ トそぐ引てこゝろ
かゝろハいろゝまゝぎ 仲 十二ゝゝふ十のぐゝ
ゐゝ。おゝうのあるてぐゐ。ちくせゝあぐ。ちゐるゐぐおゐく
ゐぞへいろがあろうぐゝてゐよ佐（あざ）カのぐ。ドレおさぐぐき
ゐゝぐきやせゝう 仲カ ヲちゝ〜ゐゝんあぐゝうひゐまさぐ
ふおちゝう。十のぐのおうへ。あぐきよゝうゐ 仲 十二十のぐ
ゝへ。ゐるまこがてゝう。コリヤ あゝぐへく トおのれぐあてゐるぐゝん
おゝうゝぐゐあてをうてつぐゝき 仲カ ゐゝ。ゐ
ハこのゐゐゐのひぐこぐゝうハのゝ ヲ ゝ ト ゝこびのゝひゝしぐゝう
きゝきゝうゝきゝハの

ひぐのゝてぐゝうおちゝと 仲カ ヲ せゝし。おきまぐゝゐてゝいこ
そゝゝうぐう。ゐぐゝうけふゐる。きこうけさんゝこがてゐい
ゐゝこゝいゐ。ゐのゐゐカ ヲ めうてゐる。そゝてきてのゝく
ゐいゐ。あゐこぐゐこゝしておゝゐるゐゝ。そゝてきてのゝく
つこのへきへづくゐぐや。ちゐ。ちゐゝゝこゐでゐ。佐（あざ）ふ
てあげさんせ 仲カ ヲ ゝ ニぐゝ。あゝてきんぐゐう。
おゐぎゐゐまゝ。トゝゝゝ。ぬぐそふゝこゝるきこハへふホ女の
ゝゝゝゐゐゐゐと ヲ イヤ あゝへぐゝ。ゐゝ。コリヤ ゐんの名（かぐん）
仲カをゐ女のけ 仲カ ぐぐ ヲ ハテ ゐ ゐんゐこまへゐ女せんゐゐゐ。おゐぎゐませ

くト　この仲ねぞもかくうきこそ八のきこめこれもうくふ十のどの
ちどしあるうえそかくうくとおかひらうきあつきあそもうよ
わうどしておびをきくる。「コレサく。あれうよ「ハテコリヤね
きこ八きもとうぶ〳〵
八。ゑし土ぶや。ちこうは。はんそへ。ナソレ。ちよつうと
うこの西ぢうう。ゆきこのでわらうがいつよう。ハテ火
ぢちでうりくあがまびおそよひうこうぶ。トうん下ゆく
あこでや返ううと。月ゑそ。ちこうはよ「ゆめちうと
ちげくあゆるきこ八ちきこよこうう「ゆ「ゆめちうと
ぢうう。さけめちこぶく八「ハテさて。ちうこでも。お
こが。きへづいちやア。ソレコうれちやア。仲ねえ

えいぎ
ちうぢちあぐぐ。ぢうくつまみあうひてそめてうんな。
仲ね
「イくサア。おねぐぢちませ「八「ハテ表。ちきけちんこを
いよ。ちよんしうふト　いうくいひまぎうしてゆぐまちくきれぐも。
あぐ。ちあ八ゆのきめこまるそでちゆきのこうい西を「ヨやくく
うくうんと。きうこ八ゆもちぐめで。ちうどこまる泡ちうぎこそよま「ヨやくく
ゆ八
ゆめちんぐ。ゆのきものをきてみうう「ゆ「ゆえんぐようこを
さむ
いよ。ちよくひうう狐ぐう。ちこうきてちうう狐へトぐんぐじうの
ちうくちぐまる
「おきもちうう。ひううおぐゆこちあさ「ゆ「ゆ法きん。ちうこ
さうづき
「ゆ「ゆでうんな「ナゼゆめくゆこと延きこへちうう狐うそこふ
のび

あるこゝろをいまゝしいおめへまでぶおいらをあこと又
せるな　ト片肩伸ばし、両手のうしろ、きめをあらい、大ゆりして、手あがりをかち乗り、サアく十のじが
よどぶうまとらるな。まちやらそらる。あるこのその
ちうへ。俗でおまをぞりな。ヨちく〳〵ト、むまゆらぶ〳〵ユリヤ
うねうふさうきふうう。おをぶぶまうてゐるやア。十のじ
ぶのちんのく。おいうふ尋性をつけて。おぐさこりのふ去
やアぐるぐ。ちんでおいうぐ十の字ぶそをとわうせく
ト俗るあうまるとふ稲ち〳〵ツイてんぐうふらみこのじやさうい。
うる伸のぞもとうまて

おきふあうう色てうぷんゆせておうをこなませ〳〵
おうをこなまをのちんでもそのの十のじのうけをきう
稲ぞうちへ才寄ぐちうう稲ぞ〳〵ちうい。そうい
ゆおまい稲ぞそじやいんものきれのおぬのようみる
ぶをい稲じやぞく〳〵ハうりゆ〳〵のちうをこじやア稲ぶをい
でもさんをいでも。稲ぞへ稲。サアあんぞうあう。十のじ
こアちんのとうこ。ゆうせく〳〵ト、ちうあるちうをこ稲ぞうちうをこ
いうこうよぐてんせぞ。ぜんく十のじのうけをきうゆぞやるふうけんきうな
ぞのてうゆへちうチひうもちうんどうみうう。はよえせんうこみしくそ

ゆこく仲ゐ者。あるいふおつまの夢ものと。ちまたこぐるい。
十のこのこくいはしたこぐるいはのいそぐやたそれが
まあ中ゆくゆくゆをいゆこうゆ又おちうちちゆをゆ
あろ陽ゆこうアうてもはろちぐ呑ゆでゆうう。会時
ふいうてあるいちのせへおいうもぐふうきてへゆうぐの
仲ゐ
ゆこうちゆういかてのけうぞへ。アノナ。十のこ八はもぐやはい
ゆトゆうのゆぎおきうるゆきうゆ江戸
のこうをひううへうカゆうゆ
十ゆんぐうゆひつけてあ陣
ゆこうこうゆ。ゆこうこうゆ。

やうらいぐや。ハテ。鏡のおうぐぐ者やうものをゆれふ長面
ゆうかゆうゆうて。お出るおうぐぐうもるふうんぐやきういをれ
で。接料借てお出ぐぐやうらいの十二おいうぐ接料
のきりのきてうるかのうえんざをうふ十ゆをるん
ふいはれてもあうんはのゆ長所の接料屋のきうん
ふへ。ゆ十のこの戸ついてあるとく。歌舞よふ者へ
てぐやきいをれてあるふいふこのぐやうらゆ。トゆのこの
くうのて。やうへゆふ大ゆをみうゆうへ。ゆへうゆるゆめをこらひつのう。今
きう。ぐぐのうへゆもひこぐやく者ゆ内ゆもおひくうう。やうくきうくて。

[illegible]

撥料のきりのかハ　きまで

かりてみちのふそ尾　ちゝぐ

十の字　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ

借りし　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ

かく手　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ

道中膝栗毛八編　中ノ終

15